

行事食より ～報恩講弁当～

「報恩講」は、秋から新年にかけて、開祖・親鸞聖人のご命日（11月28日）を中心に浄土真宗各派のお寺で行われる仏事のことです。「ほんこさま」などと呼ばれ、昔は地域全体のお祭りとしても親しまれていました。

報恩講で食べる食事は、地域やお寺の伝統が受け継がれている場合が多く、親鸞聖人のご生涯に思いを馳せるメニューで組み立てられていることもあるそうです。

当施設では11月28日（木）の昼食に、郷土料理のいとこ煮やゆべし、季節の食材を使った里芋のごま和えなどを入れた報恩講弁当を召し上がって頂きました。

